

G7宮崎農業大臣会合について

令和5年4月25日
総合政策部

1 会合の概要

名称	G7宮崎農業大臣会合
日程	令和5年4月22日(土)～23日(日) ※21日(金)からサトウパント開始
会場	シーガイアコンベンションセンター
ホテル	シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート
参加国	G7メンバー：日、米、英、独、仏、伊、加、EU 国際機関：FAO（国連食糧農業機関）、IFAD（国際農業開発基金）、 OECD（経済開発協力機構）、WFP（国連世界食糧計画）
参加人数	G7メンバー国＋国際機関（日本を除く）100人程度 日本政府代表团 40人程度 日本政府スタッフ（ロジ） 80人程度 合計 約220人 このほか、プレス関係170人程度（海外含む） ※上記は事前の想定人数であり、実績は今後集計
使用言語	日本語・英語

2 会合での議論・成果（概要）

(1) 共同声明

- ① 現在及び将来世代のニーズに応じた強じんを持続可能な農業及び食料システム
→ 既存の国内農業資源を持続可能な方法で活用し、地元の、地域の、そして世界の食料システムを強化する方法で模索すべき
- ② 持続可能な生産性向上のための実践的な措置
→ 農業・食料システムの持続可能性の向上は生産性を高める方法で行われるべき
- ③ 強じんを持続可能な食料システムのためのイノベーションと投資の重要性と民間セクターや関係者を取り込む必要性
→ 農業・食料システムの全ての段階における、あらゆるイノベーションの実施と利用が必要

(2) 宮崎アクション

上記のG7農業大臣声明を受けて、各国が取り組む行動指針として、12項目が取りまとめられた。

◆4月21日(金)

◎各国大臣等のお出迎え(空港・コンベンションセンター)



英国・ハリソン大臣



お出迎えにはボランティアも参加



カナダ・ビボー大臣



イタリア大臣を歓迎する小学生たち

◎セミナー①～③



セミナー②(味の素社長)



セミナー③(米国・ヴィルサック長官)

◎歓迎レセプション



知事あいさつ



アトラクション披露(高千穂神楽)



会場の様子



おいしさ日本一の宮崎牛ステーキ

◆4月22日(土)

◎高校生の提言(全体会合①)

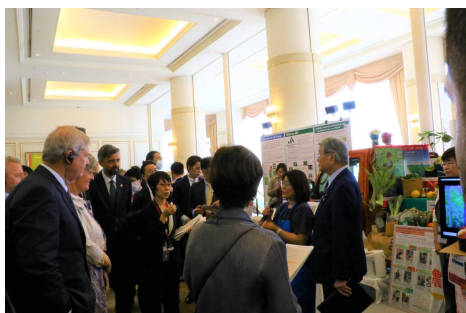
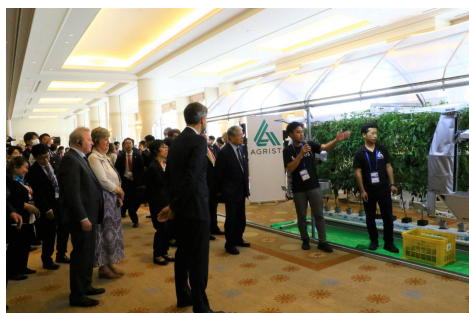


20名の高校生が提言

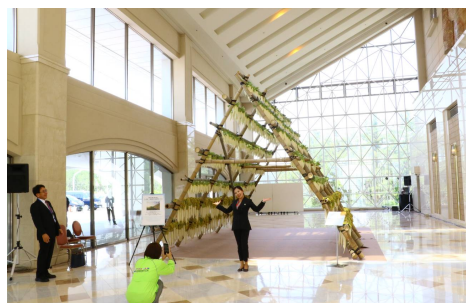


提言の様子

◎会場展示ツアー



農業トラクターの実演も



正面入口には大根やぐらを設置

◎コーヒースタンド



高校生たちが提供・解説

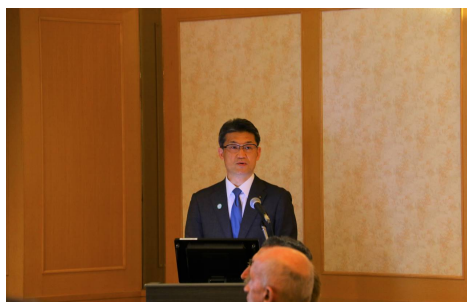


提供された米粉スイーツ(一部)

◎ワーキングランチにおける知事プレゼン



ワーキングランチ会場



本県の持続可能な農業についてプレゼン

◎HODフォトセッション



◎大臣主催夕食会



日之影町のわら細工(祝い結び)を贈呈



高い関心が集まりました

◆4月23日(日)

◎共同記者会見(キッズプレス取材)



初となる行動計画「宮崎アクション」も採択



キッズプレス(中学生)からもHODへ質問

◎現地視察

【宮崎神宮】



HODによる宮崎神宮訪問



巫女による浦安の舞を鑑賞



神宮会館で昼食

【マンゴー園地】



マンゴーについての解説



マンゴーハウス内を視察

【宮崎農業高校】



スマート農業の実演(無人トラクター)



高校生によるメロン栽培(ハウス)の説明

【アフターツアー】



パネル前での記念撮影



共同記者会見の場面を体験

【HODお見送り】



ボランティアの皆さんの活躍



野村大臣をお見送り